

新築だより vol.19

環水公園に素敵なお店がオープンしました

ラ ロカンダ デル ピットーレ様
ピザとお料理のお店



▲La locanda del pittore 様外観（富山市湊入船町）

今回、タカノ建設株式会社様のもと、La locanda del pittore様の工事を担当させていただきました。オーナー様は、内装に大変こだわりをもっておられました。

お料理に対しての演出性を考慮し、LED電球は使わず白熱球を使用する、その方がピザ本来の色彩が変わらないそうです。目からの感覚漂う空気見えない所や、照明の照らし方機器の収まり方等にさりげなく考慮されています。大変勉強になりました。

意匠は、外壁の絵画や店舗内の壁面模様、照明器具、手すり、お皿などをオーナー様ご自身で制作されている点にも注目していただきたいです。おいしいお料理だけでなく、素敵なお店の雰囲気やきれいな風景も是非味わって頂きたいと思います。

今回このような工事をさせて頂きましたことに感謝致します。ありがとうございました。

（工事部・高橋）

12月20日La locanda del pittore様が富岩運河環水公園でオープンされました。当社はタカノ建設株式会社様のもと電気工事を担当させていただきました。工事中関係者の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。環水公園はとやま都市MIRAI計画のシンボルとして水辺の豊かな公園で人々が集い賑わう美しい公園です。今回のLa locanda del pittore様の食へのこだわり、雰囲気作り、景観の美しさも取り入れた建築の中でお客様の五感を満たしていただけるものと思います。ぜひお気軽にお立ち寄りいただけましたら幸いです。当社は今回多くの富山市民の憩いの場所でこのような工事をさせて頂きましたことを感謝いたします。ご家族でぜひご会食いただければと思います。今後ともよろしくお願いたします。

（営業企画部・清水）



▲オーナー様手描きの絵画です



▲外観・店内の様子です。至るところにオーナー様ハンドメイドの品々が使用されています



資質向上研修会を開催しました



10月22日(土)に第19回資質向上研修会を開催しました。
 当社は平成19年から協力業者である新友会の方々と社員全員で資質向上研修会を開催しております。
 当社はデータベースを基本に企画提案・設計・施工・メンテナンスを行い、お客様満足度の向上を目指して
 いますが、継続的な勉強会などを行い、全体でのベクトル合わせの重要性を考えて、年2回資質向上研修会
 を行っています。今年で19回目になります。
 今回は社長をはじめ社員3名が講師となって勉強会を行いました。



🌸(工事部 柿谷部長)

①お客様目線で考えることの大切さ

私は現場施工に入るときは必ずお客様(使用される人)の立場で考え図面を見直します。動線を考えスイッチの位置は妥当か?メンテナンス性は考慮しているか?もし問題があるようであれば必ず確認するべきです。図面通りに施工したからと、言い訳するのではなく、必ず考えて施工するようにしています。そうする事によってお客様から信頼を得ることができると思います。

②施工検討会・反省会の開催

社内ではようやく順調に開催されています。良い成果も上がってきているように思います。今後は大型物件等現場では協力業者の方々と一緒に、工程・施工面の検討会に参加していただきたいと考えております。よろしくお願い致します。

🌸(営業企画部 清水常務)

お客様は仕事を発注する際、どんな人物に安心しておまかせされるでしょうか?

①第一印象は大切です

目からの情報が55%です。髪型や服装を見られています。耳からの情報が38%です。言葉使いもチェックされています。

②気持ちの良い人はどんな人でしょう?

話を聞いてくれる人。相手の立場で考えてくれる人など。

③気遣いのできる人

口は一つで耳は二つ、二つ聞いて一つ言う。肯定的に受け止めましょう。

④プレゼンテーション

お客様はどこに不満を感じているのか?ご本人が気が付いている部分と気が付いていない部分がありますが、気が付いている部分に対応、気が付いていない部分には提案してさしあげる事が大切です。同じことをするのであればやはり気持ちの良い人に仕事ををお願いされます。敬意をもった挨拶と笑顔をもって気遣いのできる人であれば、相手に伝わるはずですよ。



🌸(片山専務)

失敗から得たもの

私の新入社員時代、9階建マンション常駐で協力業者、中林さんの下で電気工事を教わりました。最初は電気配線線に出る電線屑の掃除から始まりました。電気工事の自分たちの出したごみのみ掃除をしていましたら中林さんから自分たちのごみだけ掃除するのではなく他業者の所も掃除をするように注意されました。あまり掃除をするのは得意ではありませんでしたが、気が付くと段々、まわりの方々、元請の方々と1年生の私がコミュニケーションが取れるようになったのを覚えています。

その時に現場は一人で一業者で行うものではなく全員で全業者で行うものと気付かされました。信頼できる仲間とチーム力によって良いものが作れると思いました。環境整備、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)が基本となるのが大切だと考えます。



🌸(講師 清田社長)

当社は平成16年頃から大型物件が受注できるようになりました。現場の第一線で働く新友会の皆さんをゼネコンの方々がどう見られるか?服装・言葉使い・挨拶・5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)など現場の所長は相手を見ます。信頼を得るにはどうしたら良いのか?流れの中で継続して信頼されるには、どこに目線を置くか?誰のためにするのか?自分が社会のお役に立っているのか?相手に信頼される環境に身を置いているか?勉強しないと見えてこない所です。

今回の資質向上研修会は外部的要因で話を進めています。先に講演をされました柿谷部長・清水常務・片山専務、3人ともそれぞれの立場で話をしました。企画・提案・設計・施工・メンテナンス等お客様の目線で、お客様満足につながっていれば新栄ブランドを作る事ができます。10年前から施工検討会・反省会の開催を促してはいましたが、ようやく順調に開催できるようになりました。技術・経験を活かして先を読まないとお客様に喜んで頂けません。信頼されるか否かで状況が変わります。若い世代を育てる教育の場でもあります。

どうしたらお客様に喜んで頂けるかをそれぞれの立場で考える。確かなものを求められる中、新友会とのチーム力で新栄ブランドを作り、施工・品質・コストの面で頑張り抜くことが出来れば、これからも成長できると思います。今後ともよろしくお願い致します。



世界糖尿病教育啓発週間 “富山城ブルーライトアップ”



現在、世界の糖尿病人口は3億8700万人を上っており、20年後には約6億人に達すると試算されています。中でも日本が位置するアジア・太平洋地域の患者数の増加は深刻で、2014年には全世界の約3分の1がこの地域に集中しています。日本におきましては、糖尿病で疑われる人と可能性を否定できない人の合計は約2060万人で早急な対策が迫られています。国際連合(国連)はIDF(国際糖尿病連合・現在170か国230団体が加盟)が要請してきた「糖尿病の世界的脅威を認知する決議」を2006年12月20日に国連総会議で採択しました。同時に、11月14日を「世界糖尿病デー」に指定し、各国で様々なイベントが開催されます。日本でも各地で著名な建造物をブルーにライトアップして、街頭での啓発活動が実施されています。富山城もその1つです。イルミネーションが綺麗な季節になりました。ブルーライトを見かけられましたら、頭の片隅で良いので、ご自分やご家族、大切な人の健康について考えてみてはいかがでしょうか？

▲2016年11月10日 富山県医師会様主催・富山城ライトアップ点灯式にて
(担当・中川、吉田)

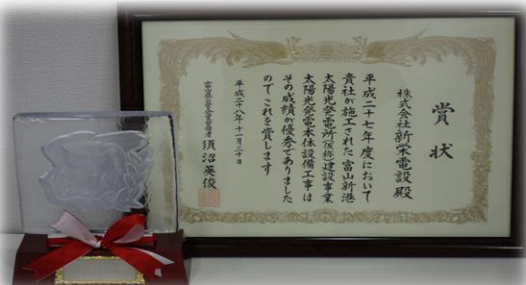


(工事部・上沢)

富山県建設優良工事等表彰受賞



11月30日、平成28年度富山県建設優良工事等表彰式が富山県民会館で開かれました。当社は、富山新港太陽光発電所(仮称)建設事業太陽光発電本体設備工事におきまして企業局優良工事表彰状を授与されました。今回のこの表彰を1つの励みとして、自分達の資質を上げ全社一丸で地域社会の貢献に努力して参ります。



(工事担当・柿谷、藤川、姫野)

優良申告法人として表敬状を頂きました



11月24日、優良申告法人として富山税務署長様より表敬状を頂きました。新栄電設として創業38年、当初は4人からのスタートでした。山あり谷ありの連続でしたが、社員や家族に支えられながらここまでやってきました。社是「愛」を基本に、信頼される企業を目指す、お役に立ちたい・喜んで頂きたい・尽くす愛を心の軸として経営して参りました。今回、このような評価を頂き大変光栄に感じます。これからもお客様に喜んで頂けるよう、感謝の気持ちを忘れずに、地域への利益還元を始め、環境に配慮したご提案等を通じて、微力ではありますが社会へ貢献していく所存です。今度ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



▲会社設立当時 旅行先にて



▲2016年1月5日護国神社参拝にて



▲富山税務署長 廣瀬様が来社され授与致しました

(代表取締役・清田)

当社近況報告

総務部総務課

クリスマスシーズンということで、簡単イルミネーションを作り、ツリーに飾って本社の玄関に置きました。社員やお客様からも好評です。今後も心がほっと安らぐような社内の雰囲気作りに取り組んでいこうと思います。



作り方



☆材料
デコレーションライト・ピンボン玉
※100円ショップで買えます!



①ピンボン玉にカッターで切り込みを入れる。



②切り込みを入れたところにライトを差し込む。出来上がりです。



▲メランポジウム



▲マリーゴールド



▲ハツキカズラ



▲チェリーセージ

(総務部・酒井、釜土)

総務部経理課

今年も残りあとわずかとなりました。当社では、毎年12月29日に社員全員で大掃除を行い、新年を迎える準備をします。

お正月飾りについて

お正月に各家庭に訪れる歳神様は、1年の健康や幸せを授けてくれると言われていています。歳神様をお迎えするために、年末には煤払い(大掃除)をして家を清め、門松・しめ縄・鏡餅などのお正月飾りを飾ります。

正月飾りを飾るのは12月27日頃から、12月29日(二重苦)と12月31日(一夜飾り)を避けて飾り、松の内の1月7日までです。

「しめ飾り」の飾り物の意味

橙(だいたい)
家が代々繁盛していくように

申柿
「嘉来(かき)」と書いて、串で刺したように嘉来が集まる(喜びが来る)ように

紙垂(かみしで)
聖域であることを表す



ゆずり葉

若葉が成長して古い葉が落ちる。親が成長した子に後を譲る姿に例え、長寿と家が代々引継がれていくように

裏白(うらじろ)
裏表のない、心清らかな人になるように

葉(ほんだわら)

海には海藻が繁殖し、海の幸がたくさん採れるように。また、葉(も)を刈る、転じて「儲かる」ように

門松

歳神様の依り代と考えられているもので、「ここに来て下さい」との目印にもなります。松が飾られるようになったのは平安時代からで、それまでは杉も使われていたようです。松に限られるようになったのは、松は古くから神が宿る木と考えられていたためです。そこに、まっすぐに節を伸ばす竹が長寿を招く縁起物として添えられたそうです。

鏡餅

家に訪れた歳神様をご鎮座される場所と考えられています。歳神様の御魂が宿るため、鏡開きをして歳神様のパワーを身体に取込むそうです。

なぜ「鏡」餅なのかというと、昔の鏡が円形だったため、人の魂(心臓)を模したことから、丸餅になったと言われていました。また、大小2つ重ね合わせるの、月(陰)と日(陽)を表していて、福德が重なって縁起が良いと考えられたからとも言われています。



▲出雲大社のしめ縄です

しめ縄

「神聖な場所」であることを歳神様に示す意味があります。また、不浄なもの(悪霊など)が入ってこないよう魔除けでもあるとされています。しめ縄を様々な願いを込めて縁起物で飾ったものが、「しめ飾り」です。

お正月飾りは1つ1つに大切な意味があります。この風習を大事にしていきたいと思います。(総務部・清水)

社長よりご挨拶

師走の候、いよいよご清祥のことと慶び申し上げます。平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。おかげ様で「新栄だより」は平成22年7月に第1号を発行いたしました、6年経過しました。本誌は第19号となります。社是「愛」を基本にお客様と繋がりを持つため社員が色々な角度から情報を集め、普段の業務の中からご提案案件などを調査し、編集しております。原稿作成、封筒も全て手作りです。つたない点もあるかと思いますが、お客様との関係をより良いものにしたいと思っております。今年もわずかとなりました。皆様には大変お世話になりました。誠にありがとうございました。感謝いたします。今後ともご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



▲印刷中です

発行元

株式会社新栄電設

〒930-0953 富山県富山市秋吉37-2 TEL: 076-491-5113 FAX: 076-491-5118

(編集・校正: 上沢・大山・小林・片山・清水・柿谷・清水早・酒井・藤川・中川・高橋・吉田・姫野・生地・釜土) 2016年12月20日発行